

～ 企業コンプラ推進と不正防止の要 管理職向け講座の決定版！ ～

管理職 企業倫理・コンプライアンスコース

受講期間 12 カ月 / 添削回数 5 回 / 受講料 40,000 円（税抜）（44,000 円（税込））

※ 団体割引:39,600 円(税込)(法人単位 申込者数 5 名以上)

- 企業倫理を中核としたコンプラの意義を深く理解し、企業倫理、コンプラ、内部統制、リスクマネジメント、法務の基礎を習得し、実践的な判断力、行動力、指導力を身につけることができます。
- 部署のコンプラ推進、内部統制の構築、部下へのコンプライアンス教育手法も学べます。
- 全 5 回 70 点以上の成績を収めた方は、申請により、「認定コンプライアンスアドバイザー」資格を取得できます。

	科目	内容	
第 1 回	企業倫理・コンプラの基礎と実践	現代企業とコンプラの重要性 / マネジメントと管理の基礎 / コンプラ推進の方針・基本ルール / 推進のための組織体制 / 不正防止体制 / CSRとコンプラ	
第 2 回	内部統制とリスクマネジメント	企業統治(コーポレート・ガバナンス) / 内部統制の考え方 / リスクマネジメントの考え方 / 内部監査の機能	
第 3 回	管理職がおさえるべき法務の基本	企業と「法」 / 企業活動と取引 / 企業活動と公正な取引の確保 / 企業、消費者・社会 / 企業と犯罪 / 企業と労働者 / 企業と行政	
第 4 回 第 5 回	総合問題		
受講想定者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業・団体等の役員、管理職・部門責任者、将来の幹部候補生 ・ 企業倫理・コンプライマインドに深く精通し、実践・指導したいビジネスパーソン 		
教材および認定証	管理職テキスト 3 冊 	受講ガイダンス / 問題・解答用紙 / 質問票 	認定カード・認定証 

< 選択式サンプル問題 >

A社の営業部では、部員の単純な事務処理ミスによる顧客とのトラブルが散見される。この問題を解決するための管理者が指示すべき統制活動の具体例である以下の(ア)～(エ)の記述のうち効果が薄いと思われるものはいくつあるか、(1)～(4)から選びなさい。

- (ア) 納期等を遵守するため、共通の予定表を作成して進捗状況を記入する手続きを導入する。
- (イ) 「事務処理ミスの削減」を部内目標に掲げる。
- (ウ) 不適切なデータは顧客管理システムにインプットができないよう入力システムを変更する。
- (エ) 重要な帳票については複数名で確認することをルール化する。

(1) 3つ (2) 2つ (3) 1つ (4) なし

< 記述式サンプル問題 > 管理者が各部署の統制環境を構築することの重要性について、その理由を簡潔に説明しなさい。